飯塚病院

innovate and evolve

外科からの研究に関するお知らせ

研究のためカルテの情報を使用させて頂いています

◎対象となる患者さん：入院し、結腸および直腸穿孔に対して手術を施行した方

1、研究の題名 『結腸および直腸穿孔に対する緊急手術における
予防的創部陰圧閉鎖療法の有用性についての検討』
提供先：東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター

研究期間 ： 承認日 ～2022 年 3 月 31 日

2、研究の目的

結腸および直腸穿孔に対する緊急手術は、創部感染のリスクが高いと言われており、創部感染は入院期間の延長、入院費用の上昇、死亡率との関連が指摘されています。陰圧閉鎖療法と言われる創処置の創部感染に対する有用性は既に報告されていますが、緊急手術における予防的な使用に関しては不明確な部分が多いのが現状です。治療法の向上のために多施設で症例の情報を集めて検討を行うことを目的とします。

3、以下の期間に上記（◎対象となる患者さん）を満たした方が対象です

対象期間 ： 2015 年 4 月 1 日 ～ 2020 年 3 月 31 日

4、本研究で使用する情報について

本研究に関して診療記録から 以下の情報を取得します。

[患者基本情報] 年齢、性別、BMI、既往歴、穿孔原因など

[生理的情報] 意識レベル、血圧、呼吸数、心拍数、体温、血液検査結果など

[治療関連情報] 陰圧閉鎖療法使用の有無、入院期間、入院総費用、合併症の有無、術式、術後から創閉鎖までの期間など

5、取得情報の利用範囲

【提供先】東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター

6、本研究の責任者

この研究の責任者は以下の者です。研究の成果を学会や論文等で発表する際には名前等を番号や記号に置き換え個人が特定できない様に行います。また、この研究にあたり個人情報の漏洩等がないよう取得した情報等を管理し、患者さんに不利益がない様責任を持ちます。

【研究代表者】東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター
教授　大友　康裕
【研究責任者】東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター
特任助教　中堤　啓太

【当院責任者】外科　診療部長　由茅　隆文

7、対象となる患者さんまたはそのご家族等の方へ

この研究にあなたの情報が使用されることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、ご遠慮なく下記連絡先までご連絡ください。お申し出頂いても、不利益を被ることは一切ございません。どうぞ、ご安心ください。
また、この研究の計画書を研究に支障のない範囲で閲覧することができます。その場合も下記連絡先までご連絡下さい。

（連絡先）0948-22-3800(代表)
（担当者名）外科　由茅　隆文